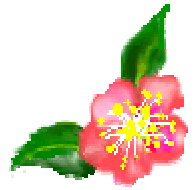


# 船橋 YMCA 通信



No.5 2002年3月1日

編集 千葉YMCA船橋地域デポ運営委員会 発行人 榎 一光  
〒273-0825 船橋市夏見6-6-6 日本基督教団船橋教会内  
電話：(047)425-6366 F A X：(04)7145-3403



## スキーキャンプの報告

千葉YMCAのスキーキャンプは、創立時より続いているプログラムのひとつです。今回は、12月26日から29日の3泊4日で行なわれた“エンジョイスキーキャンプ”のレポートをお送りします。

このキャンプのために、リーダーたちは子どものスキーの安全に関する座学やスキーの実技トレーニングを行なってきました。なお、写真と文章は直接の関係はありません。



## メンバーの感想

ぼくは、今回2回目の“エンジョイスキーキャンプ”に行ってきました。1回目はスキーのやりかたがあまりわからなかったのが、今回は前よりうまくなってリフトに乗れるようになりたいなあと思いながら行きました。

スキー場では、八の字の練習を何回もくり返して、やっとリフトに乗ることができました。山からすべりおりてくる時、風が顔にあたってとても気持ちよかったです。リーダーが「あと一日あったら頂上に行けたね。」と言ってくれたので、スキーがもっとやりたいなあと思ったし、楽しいなあとも思いました。

澤井 諒

## メンバーの親の感想

姉弟で2年続けて“エンジョイスキーキャンプ”に参加しました。小5の娘は、集団生活に尻込みをするタイプであり、また運動も苦手という面を持ち合わせておりますが、今回のキャンプでは家族以外の人と寝食を共にする生活、スキーの両方も楽しむことができたようで、親としても大変喜んでおります。

小3の息子は元々運動好きで、今回は2回目ということもあり到達目標を持って参加しました。リーダーや友達との交流を通じてキャンプ全体を楽しみ、スキーも上達したようで充実した時間を過ごすことができました。

YMCAのキャンプでは、子どもの状況に合わせて無理なく進めてくださるので、親としては大変安心して送り出すことができる素晴らしいものだと感謝しています。

澤井 諒 母



## グループリーダーの感想

私は、今回の“エンジョイスキーキャンプ”に女の子8人のグループのグループリーダーとして参加しました。

人数が多いため、初めは2、3人の小グループに分かれたり、一人で好きなことをしたりという傾向がありましたが、食事当番でどんな歌を歌うか話し合っている時にいつの間にか、それまで孤立していたADHD\*の子を中心として、9人が輪になって替え歌を作っていました。

この瞬間が、私にとって最も嬉しく、一番の思い出として強く心に残りました。また、このような素敵な時間を過ごすためにキャンプに参加したいと思っています。

小島 なぎさ

\*ADHD (Attention-Deficit Hyperactivity Disorder) 注意欠陥・多動性障害



## プログラムリーダーの感想

私は、“エンジョイスキーキャンプ”にプログラムリーダーとして参加しました。実は、私はスキーキャンプに参加することもスキーをするのも初めてでした。全くスキーを経験したことが無い私が子どもたちにスキーを教えるのがとても不安でした。

尾瀬戸倉スキー場で行なわれた2日間のリーダートレーニングで、私はハの字でロマンスコースを滑って降りてくることができました。滑ることはとても気持ち良くて、リフトから見る景色はとてもきれいでした。私はスキーが楽しく好きになりました。

私がリーダートレーニングで味わった感情を是非、“エンジョイスキーキャンプ”に来るメンバー、特に初めてスキーをするメンバーに感じて欲しいと強く思いました。実際、キャンプでは初めてスキーをしたメンバーがリフトに乗れるようになったこと、キャンプでもっとスキーが上手くなったメンバーがたくさんいたことがとても嬉しかった

です。

私は、スキーキャンプというのは、ただスキーをする為のキャンプではなく、キャンプに来たメンバー同士、そしてリーダー、ディレクターが共にスキーを通じてキャンプを作り上げていくものだと思います。

“エンジョイスキーキャンプ”では、メンバー同士、リーダー、ディレクターが一体となって、キャンプを楽しむことができたこと、一人ひとりが忘れられないキャンプ、かけがえのない仲間が作られたのではないかと思います。

藤田 雅子

## “わんぱくクラブ”の記録

2002年1月の“わんぱくクラブ”は、20日(日)に渋谷にある『こどもの城』へ行きました。今回は印出井リーダーのレポートです。



1月の“わんぱくクラブの活動”は、渋谷の『こどもの城』に行きました。電車に乗っている時間が長かったので、リーダーと子ども、子ども同士の会話が多くとても賑やかでした。到着した後、すぐに食事をとり、グループ毎に行き先を決め行動しました。アスレチックに行くグループが多く、どの子どもとも楽しそうに走り回っていました。

帰りの電車では、疲れて寝てしまう子どもが多いましたが、子ども達にとってはとても楽しい一日だったのではと思う1月の定例活動でした。

印出井 健史

## 編集後記

「YMCAの青少年活動で何ですか？」と問い掛けられました。デイキャンプやスキーキャンプなどの野外活動ですと答えても、その中身はなかなか相手には伝わりません。本紙が皆様のYMCA理解のお役に立てればと思っています。(槇)